

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第80号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
Email:iguren@kanagawa-iguren.com
http://www.kanagawa-iguren.com

特別寄稿 我が国の航空機産業育成に関する熱い思いを寄稿いただきました。2回にわたって連載しています。

立ち上がり 日本の航空機産業(2) まんてんプロジェクト 千田 泰弘 (JASPA取締役)

<前回の要点>第1章～第2章

- ① 人命の安全を至上命令とした広範囲かつ細部にわたった法の規制と許認可が必要であり、認定を受けた企業の市場支配力は強大である。
- ② 市場規模は年40兆円強、技術波及効果は自動車産業の約3倍であり、国策として育成振興が図られる。
- ③ MRJ (YS11以来46年目のプロジェクト) クラスで、部品点数及び部品価格は自動車の100倍、しかも多種少量で高品質が要求され、中小企業との親和性が高いといえる。
- ③ 技術データの蓄積は米国が世界を圧倒している。MRJの部品の国産化率は40%の予定に対し、ライバルのARJ2 (中国) のそれは50%である。

日本の誇る素材技術、加工技術を早期に航空機産業に転用することが重要な課題である。

3. 日本は利用の先進国。しかし市場と産業は未成熟

人口一人当たり航空機利用・キロ数で見ると我が国は米、英、加、仏、独、に次いで世界第6位であり、国土面積あたりの空港数では、英、独、仏に次いで世界第4位(5位以下は、伊、米、加と続く)とほぼ欧米並みの水準にあると言える。

ところが、GDPあたり自家用機の保有数で比較すると我が国は米国の58分の1、欧州の8分の1と大きな差がある。また、航空機生産額は世界の僅か3%に過ぎず、世界シェアの約50%を占める米国、1970年からこれを追い上げ、いまや40%台に迫る欧州、4-5%のカナダ、ブラジルとの間に大きな差が開いている。しかも、これら先行諸国は、いずれも型式認定を各国政府から取得して航空機の生産・販売をおこなっているが、我が国は、先行諸国の航空機メーカーとの国際共同開発や下請受注生産が全てである。

4. 制度整備の必要性

他産業と異なり利用の普及や製造業の発展には、国の法規制の与える影響が極めて大きい。したがって、今後の我が国の航空機市場と産業の発展の為に仕組みをしっかりと整備しておく必要がある。

現行の我が国の法規制には以下のものがある

①航空機産業の育成関連

<航空機工業振興法(経済産業省)>

1958年に制定した国際共同開発の助成を行うための法律。政策投資銀行などから国が指定する機関(財団)を通じ認められた国際共同開発実施企業などに資金提供などをおこなうもの。一般助成金並みに参画できる企業の範囲を広げ、中小企業なども利用しやすく整備する必要がある。さらに、航空機産業全体を振興するための、概念を盛り込み、我が国の機械産業、電気電子産業の振興に大きく寄与した嘗ての特定機械情報産業振興臨時措置法のような内容にすることが望ましい。

宇宙分野においては、昨年7月に宇宙基本法が施行され、広範囲な宇宙の利用と技術開発などを国が基本計画を定めて官民で実施することが決定しており、航空機産業分野においても同様な柱となる仕組みの整備が望まれる。

<航空法、空港法(国土交通省)>

航空機の安全を規制する法律で、製造に関係する型式認可、耐空証明のほか、運航や保守、空港の設置や管理に関する規制をおこなう法律。いずれの法においても基本概念が旅客機や法人の利用を前提に組み立てられており、自家用機や小型機など市場の拡大と普及に必須の概念が前提に含まれていない。行政指導や通達ベースで改善は図られているものの、いまや法律の根本的な枠組みの整備が必要な時期にある。

我が国には100近い空港があるが大半は閑散としている。また小型機やヘリコプターによる産地直

送を図るべく農道に離発着できる（舗装の厚みや道路幅などが一般道路と異なる）所謂農道空港も北海道を中心に全国に8箇所が設けられたが、全く利用されておらず、盆踊り会場などに活用が図られている現状である。ビジネスジェットの利用に対する要望が強いが、個人所有者が使える格納庫がない。

欧米やアジア近隣諸国では常識となっているビジネスジェット対応設備がないため、自家用機所有者の一部は米国に自家用機を駐在させるなどしている。名古屋空港は、セントレア空港が出来た後の利活用手段として、国に特区申請を行いビジネスジェット空港として認可された経緯がある。

また、1983年に発足した「全国地域航空システム推進協議会」は国の関係機関、地方公共団体、航空業界等100を超える機関が小型航空機の活用によって閑散としている地方空港の活性化を図る活動を行なっているが事態の根本的解決には至っていない。代わりに閑散とした地方空港に助成金の交付などをおこなっているが、根本的解決のための枠組みを作るべきであり、対症療法的なプロセスは早急に改善すべきである。

了

産学官交流サロンのコーナー

第32回よこはまサロンの開催案内

日時：2009年6月17日（水）18:00～20:30
 場所：神奈川中小企業センタービル5F
 話題：「お客様に感動と満足を売る商売」
 おそうじ本舗みなとみらい店 石川ともこ氏
 参加費：1000円
 申込：織方、岡田、杉本、芝 tel 045-633-5142

第33三浦半島経済人サロンの開催案内

日時：2009年7月15日（水）18:00～20:30
 場所：神奈川新聞社横須賀支社 5F会議室
 話題：「三浦の地域資源を活用した新たなモデルづくり」
 (有)たのし屋本舗 代表取締役 下澤敏也氏
 参加費：1000円
 申込：八幡 tel 045-633-5142、鶴野 046-836-6785

第21回西湘サロンの開催案内

日時：2009年7月13日（月）18:00～20:30
 場所：あいおい損保小田原支社（瀬戸ビル）3F
 話題：「北原白秋と小田原」 関東学院大学非常勤講師・竹村忠孝氏
 白秋は600以上の童謡を小田原で作ったといわれ、また、白秋と小田原に関わった著名人は日本を代表する文学者、歌人、詩人、政治家など百名以上にのぼるそうです。地元小田原で北原白秋の研究を続けている竹村氏のお話です。
 参加費：1000円 申込：島津俊、吉池、芝 tel 045-633-5142

おなじみ尾上町サロン

日時：原則第一・三金曜日（6月19日、7月3日）17:15～19:30
 会場：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所
 会費：1000円（現物も大歓迎）
 連絡問合せ：神奈川異グ連事務局 芝、八幡、鈴木
 045-633-5142

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

まんてんグループ

千田BC

- 6月15日～20日にパリで開催される「パリエアショー2009」に出展するための準備を行なった。
 まんてんプロジェクトとして、(社)日本航空宇宙工業会エリアに間口約6mのブースで14企業・機関が製品展示を行なうと同時にJAXAブースの一部にコーナーを設け、10品目の製品展示を行なう。
 まんてんプロジェクトからは合計17人のミッションを送り、英文パンフレット1000部を用意して参加する。
 まんてんプロジェクトは、一昨年のパリエアショー、昨年のロンドンエアショーに小規模ながら展示し経験を積み重ねてきた。今回は本格的な出展であり、日本の中小企業が海外の航空機関連展示会にブースを作り参加するのは今回がはじめてである。
- 5月27日、まんてんの会員である水上機開発事業協同組合主催の「水上飛行機研究会50回記念シンポジウム」が東大にて開催された。
 東大と連携して毎月水上飛行機研究会を開催しているが、その50回目の記念に関係者を集めて開催したものである。東大の鈴木教授から日本の航空機産業振興の必要性と、大学の対応についての基調講演があった。この中で、東大として、総長の下に、工学、法学、経済学、国際関係学など全学を結集した特別研究ユニット「航空政策提言ユニット」を今年度からスタートさせ、航空イノベーションを支える社会システムのあり方を広く研究し、提言することとなったことが報告された。
 航空機国産化が開始されたことを受け、産官学のあるべき姿を提言し、大学としては航空関連の人材育成のあり方を見直し、産業の育成に資することを目指すとしている。

第 9 6 回 日 韓 ビジネス 協 議 会 定 例 会 (5 月 2 6 日) 報 告

高橋 導徳 B C

- 韓国企業紹介 / ユビキタス関連機器 三信イノテック(株) 次長 金英泰氏
1972 年設立、設立期はサムソン、LG にイヤホンなどを納め、成長期には組織拡充、開発を主力とし、現在の跳躍期には売上増進、海外市場進出を目指している。
本社 (韓国) 5 2 名、オーストラリア (技術開発)、中国 (生産)、中国には 7 0 0 名程度の従業員が働いている。製品はオーディオ、通信、ブルータスなどで年間 4 5 0 万台生産している。
- 日本企業紹介 / 結婚情報サービス アイリーン代表 大成隆子氏
2001 年設立、日本最大大手、日本仲人連盟、良縁ネットに所属している。8 年間で 3 8 組の成婚実績を有しパーティ参加の実績は月平均約 5 人である。
お見合いからご成婚まで昔ながらの仲人小母さんが親身になってお世話をしてくれる。
- 「世界で暮らし易い国は何処か ?」 マーサー調査：世界生活環境ランキング 2009 紹介
神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザー 児玉英二氏
老後は海外で生活したい方が増加しているようです。
暮らしやすさの指標は物価、安全、都市のインフラ、教育、自然環境、医療保障、娯楽・などが挙げられる。比較的好ましい国はオーストリア、スイス、カナダ、ニュージーランドなどが老後に生活してみたい候補のようである。
- 韓国・蔚山中小企業協会の紹介 / プラスアルファ一月岡事務所代表 月岡泰夫氏
ウルサン工業地帯は現代自動車、ポスコ (鉄鋼)、SK (石油精製)、などを中心にした韓国で最初のコンビナート地帯である。最近、ウオン安にともない日本への売りこみが積極的で交流会・商談会の開催が増加している。韓国=日本の交流会・商談会の依頼を受ける体制が確立していない。
- 基調講演 / 「雲の上のパソコン」 株式会社テレジャパン 代表取締役 宗像忠夫氏
「クラウド (雲) コンピューティング」はパソコン、携帯電話内ではなくサーバ上のソフトやデータをインターネット経由で利用することである。無数のサーバ群を表すクラウド (雲) は様々な情報をネットの向こう側から提供、文字通りいつでもどこでも情報にアクセスできるユビキタス情報時代が到来している。今後、セキュリティの概念が変わるであろう。NTT はインターネットを使って業務効率を大幅に高める手法で「クラウド」(雲) 研究に本格的に取り組むというニュースがあった。

第 9 7 回 日 韓 ビジネス 協 議 会 定 例 会 開 催 連 絡

高橋 導徳 B C

日時：6 月 2 5 日 (木) 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 1 5 懇親会 1 7 : 1 5 ~

場所：神奈川中小企業センタービル・・ 5 階会議室 かながわ異業種交流センター

○基調講演：「まんてんプロジェクトの最近の動向」 まんてんプロジェクト会長 瀧澤 清氏

○韓国企業紹介 及び 日本企業紹介 は現在折衝中ですので追ってご連絡致します。

* 関心がある企業の参加者を歓迎致します。 会費：1 0 0 0 円です。

申込先：TEL & F A X : 0 4 5 - 3 1 1 - 0 0 9 4 高橋 迄 mail : mtakahas@tb3.so-net.ne.jp**シフト 2 1**

有村 B C

6 月定例会 (6 月 9 日) は、『日本の航空機産業の現状と課題』というテーマで、J A S P A 株式会社 取締役の千田泰弘様にお話をいただきました。昨年 4 6 年ぶりに始まった国産航空機の開発に関し、その現状と今後の課題について、航空機産業の特殊性、日本の航空機利用、製造の現状、世界の航空機産業と日本の航空機産業、日本の航空機産業の発展の為に法制度や技術開発の課題など興味深いお話でした。

7 月定例会 (7 月 1 4 日) は、『街歩き・建物探訪の魅力 (仮称)』と題して、一級建築士の小泉康博様にお話をいただきます。城下町や門前町、宿場町など歴史有る街散歩の魅力や、街中で見かける趣きある建造物の見方など、専門家ならではの蘊蓄 (うんちく) を語っていただきます。

シフト 2 1 は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会を開催しております。(原則第二火曜日開催) ゲストの皆様の参加を歓迎しております (初回参加は無料)。お問合せは有村まで。(arimura-c@nifty.com)

関連イベントなど

2009 釜山企業産業部品商談会 in 横浜

技術進歩の著しい韓国との取引はウォン安の今が狙いめ。横浜で、複数の釜山企業との商談ができます。不況の今だからこそ、次の好景気に備えて韓国企業とのお付き合いを始めてはいかがでしょうか。

主催：釜山広域市、釜山経済振興院、駐日本釜山市貿易事務所

後援：韓国貿易協会、KOTRA、(財)横浜企業経営支援財団、日本貿易振興機構(ジェトロ)横浜貿易情報センター

日時：2009年7月9日(木) am10:00~17:00

会場：横浜情報文化センター6階 情文ホール&ホワイエ ※通訳は準備しております

横浜市中区日本大通11番地 TEL:045-664-3737

みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口 JR・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分

お問合せ：横浜企業経営支援財団 国際ビジネス支援部 TEL 045-225-3730 FAX 045-225-3737

釜山企業リスト(5月時点の参加予定企業)は <http://www.idec.or.jp/file/news/090529.pdf>

かながわ創業応援キャラバン2009(参加無料)

神奈川県は、創業チャレンジャーを「ホップ、ステップ、ジャンプ」方式で応援します。このほど創業のいろは、心構えが学べる創業フォーラムを県内各地で巡回開催します。是非ご参加ください!

日程	テーマ	会場
第1回 7月04日(土)	技術、栽培、販売の連携による食の事業起こし	県小田原合同庁舎
第2回 7月18日(土)	創業のいろいろな形を披露します	大和商工会議所
第3回 7月25日(土)	食で起業	川崎市産業振興財団
第4回 8月01日(土)	自らをブランド化する方法	神奈川中小企業センター
第5回 8月29日(土)	社会起業・世直しビジネスの創業	ヴェルクよこすか
第6回 9月05日(土)	夢をカタチに	県平塚合同庁舎別館

時間はいずれも13:30~16:30

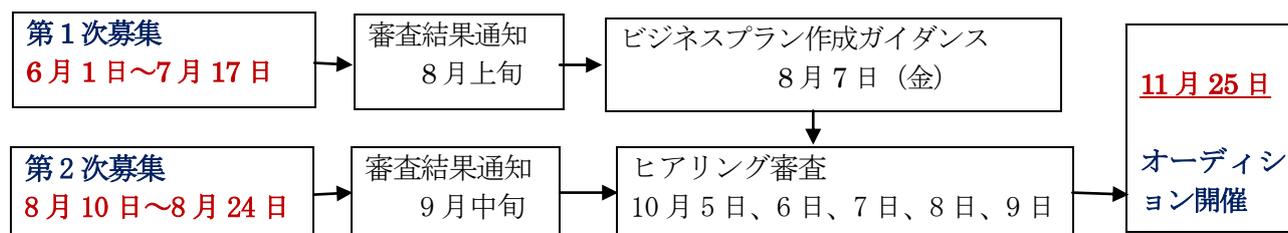
問合せ・申込：神奈川県商工労働部産業活性化課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 TEL045-210-5562、FAX045-210-8868

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sangyo/caraban/index.html>

かながわビジネスオーディション2009(ビジネスプラン募集)

あなたの夢の実現をサポート!!



<表彰>

神奈川県知事賞(副賞50万円) 奨励賞(副賞20万円) アイデア賞(副賞10万円)

団体賞(多数の支援機関からの表彰が有ります) 来場者賞(来場者の人気投票)

問合せ・申込：かながわビジネスオーディション実行委員会(神奈川産業振興センター企業化支援部)

TEL045-633-5203 FAX045-633-5194 <http://www.kipc.or.jp>

事務局のコーナー

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】村上 嘉男 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】(芝 忠) 杉本 明子

【木】松井 利夫 【金】①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階

神奈川県異業種グループ連絡会議事務局 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194

URL：<http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail：iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!